

碧南市藤井達吉現代美術館リニューアルオープン後の教育普及活動を振り返る

ーワークショップテキストや出前授業確認書の実績を通してー

文化財課市史資料調査員 美術館教育普及担当 稲垣 尚人

はじめに

2020年から、2023年3月までの3年間、碧南市藤井達吉現代美術館のリニューアル工事に伴う休館中にも、美術館教育普及活動は継続して活動し、美術館ワークショップは近隣の大浜まちかどサロンを会場にして実施、市内小中学校へは美術館学習も含め出前授業を実施してきた。

2023年5月に美術館がリニューアルオープンし、ワークショップが美術館地下1階の創作室で活動できるようになった。そして、休館中のワークショップの実施形態や工夫内容がリニューアル後のワークショップの基本になり、定着してきている。現在、ワークショップは年報No.8を見ても分かるように参加者が常に定員を満たせる程の盛況ぶりである。出前授業についても少しずつ依頼が増えてきている。これまでの取り組みや工夫を振り返り、更にワークショップや出前授業で培った成果を継続、発展させるための課題を考えてみたい。著者は教員退職後、文化財課市史資料調査員として美術館と市史資料調査室に勤務して8年になる。この8年間の成果について反省も含め少しずつ振り返りたいと感じている。今回の報告はそのひとつと考えている。

1 美術館ワークショップとワークショップテキスト

(1) ワークショップ形態の変遷

2008年に、碧南市藤井達吉現代美術館が開館して以来、企画展事業と平行して教育普及活動、特にワークショップが重要視されてきたと感じている。[参考文献1] [子どもワークショップ これまでの歩み, 2017年] 筆者が当館に勤務を始めた頃は、ワークショップ事業は1ヶ月に1回、土曜日午前に1講座、日曜日の午前と午後2講座の計3講座を実施し、もうひとつ、「びあじ」(美術館あそび実験室)と呼ばれる事業で、愛知県児童総合センターと連携し、3才児以上の親子を対象にして、美術館作品の鑑賞と造形遊びをセットにした他の美術館の活動にはないユニークな活動を展開していた。[参考文献2] [「びあじ:美術館あそび実験室」について, 2017年]

美術館のリニューアル工事に伴う休館により、「びあじ」の活動は会場が確保できないため休止となり、美術館リニューアル後は1年間に1回の実施になった。「びあじ」の休止を補うため、リニューアル工事期間中はワークショップ事業を月2回に増やし、会場として大浜まちかどサロンを使用するために土日の3講座を日曜日の2講座に縮小した。この会場では水場の確保ができなため、絵具を使う創作活動は不可能だった。そこで、色鉛筆や鉛筆、クレヨンの使用に特化した講座やはさみや折り紙などの工作に取り組み、結果として講座の幅を広げることになった。受講者の対象年齢も、それまでは小学生を主としていたが、親子(3才児以上の幼児と保護者)、小学生、中学生以上の大人と幅を広げた。リニューアルオープン後もこの形態で事業を継続し、現在に至っている。

また、工事期間中に起こったコロナ禍のための対策も行うことになった。ワークショップの材料や用具な

どの洗浄、距離をにおいて過度な接触をしない工夫や作業時間の短縮を行った。作業スペースとして受講者1人に1台の机を割り当て、プロジェクターを活用して、作業の様子を示し移動しての見学を避けた。それまで2時間かけていた講座時間を1時間30分に短縮した。これらを補う方法としてワークショップテキストを制作配布した。

さて、美術館ワークショップの実施形態については、他の美術館・博物館などの施設では、以下のようなものが主流を占めている。

- ・企画展の関連事業として、作家や作品の理解促進を目的に、代表作品などを疑似的に制作、体験するワークショップ（事前予約制・1回のみ限定講座）
- ・開館時間中いつでも誰でも短時間で体験・制作できる簡易なワークショップ（内容は固定的）
- ・限定的な受講者（年間予約制）による通年などの連続した講座形式による作品制作ワークショップ

当館のワークショップは、発足時当初から以下の3点を特徴としている。[参考文献1] [子どもワークショップこれまでの歩み, 2017年]

- ・幼児から大人までの幅広い市民（受講者）を対象にしている
- ・短時間（2時間程度）で制作、完成できる内容にしている
- ・幅広い造形ジャンルを紹介している

専門的な一部の愛好者を対象にしたワークショップ講座ではなく、幅広い層の市民が気軽に受講できる敷居の低さと多様なテーマや造形素材を扱い、1講座1作品の完成を目標に講座内容を工夫してきた。ワークショップ開始当初に就任した宮嶋紗千専門スタッフが努力し築き上げた路線を引き継ぎ、幅広い層の受講者を対象にした、造形に親しみ、楽しむ入門的なワークショップ講座をめざしている。

制作時間については、かつては2時間超の講座を実施した。特に夏休みのワークショップは午前、午後を通しての実施もあった。工事期間中はコロナ禍対策から、2時間の講座時間を1時間30分に短縮した。現在、原則として1時間30分を規準にして、ワークショップの内容を組み立てている。実際に作業に集中できる限界が大人でも1時間30分であり、幼児については年齢プラス1分程度である。工事期間中の短縮が結果として理に適った講座時間となった。また、子どもたちが制作に集中できる時間を考慮して、作業工程を10分から15分で組み立て完成に近づける手法をとっている。[図1] そのために時間のかかる作業については、スタッフが事前準備で材料を加工しておき、作業時間を省略する工夫をしている。（ワークショップテキストには、省略した工程も記載し、自宅でも制作できるように配慮している。）

また、美術が得意な人だけでなく、幅広い市民を対象に参加しやすい講座とするため、絵を描くことが苦手な人も気軽に取り組めるような手法として、写真のトレースやコラージュ作業を作画に取り入れたり、偶然にできる形を元にイメージを膨らませる制作手法を講座内容の中心に据えたりしている。[図2]

陶芸については、美術館に焼成窯がないため、かつては外部講師を招聘して、作品の焼成を講師に任せ、作品完成後に受講者に取りに来てもらうようにしていた。また、焼成した作品に絵付けをする作業だけを行い持ち帰ってもらっていた。しかし、外部講師、受講者双方への負担も大きい。現在、粘土による成形を目的にした講座ではオープン粘土を使用して、成形した作品を受講者各自で家庭のオープンで焼成できるようにしている。[図3]

このように、リニューアル工事期間中やコロナ禍対策での制約が様々な工夫を生み、逆にリニューアル後

のワークショップ形態に反映され、現在のワークショップの基本形態として定着した。

(2) ワークショップテキスト

ワークショップを実施する過程で、スタッフの打ち合せのために簡易な指導案を作成して、共通理解を図ってきた。しかし、実際にワークショップを始めてみると、細かな点で認識の相違を感じた。改善を図る過程で、受講者に制作手順を示したテキストを配布し、図解したマニュアルを見ることで、受講者自身が制作内容を正確に把握できるようにした。また、受講者がテキストを持ち帰れば、再度家庭でも再現でき、それが知人などに渡れば、ワークショップの内容が広まる利点もあると考えた。

2020年から徐々に始めたワークショップテキストは、現在も追加作成され、その数は75冊になる。[写真1]ワークショップの内容や受講者の対象年齢などについては、次の表を参考にしてほしい。[表1]



写真1

ほんじつ

本日のスケジュール

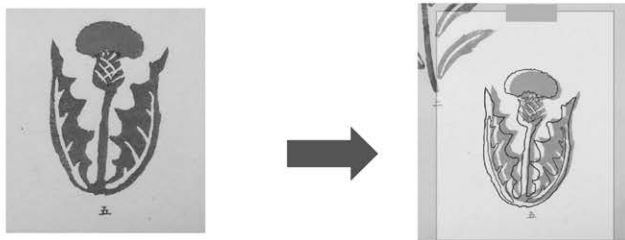
計 90分

- | | | |
|---|----------------------|-----|
| ① | シルクスクリーンの説明 | 5分 |
| ② | 原稿（元図）をつくろう！ | 10分 |
| ③ | 原稿をうつそう！（スクリーンにトレース） | 5分 |
| ④ | スクリーンにペンがきしよう | 15分 |
| ⑤ | 製版作業をしよう（乳剤を塗る） | 10分 |
| | <乾燥・休憩> | 10分 |
| ⑥ | 摺ってみよう。（準備・印刷） | 20分 |
| ⑦ | 後片付け | 10分 |
| ⑧ | 鑑賞 | 5分 |

げんこう 2 原稿をつくろう

・元になる絵をトレーシングペーパーでうつそう。

※輪郭線にして形を写し取りましょう。



げんこう 3 原稿をうつそう。(スクリーンにトレース)

・原稿の上にスクリーンを置いて、鉛筆でなぞります。

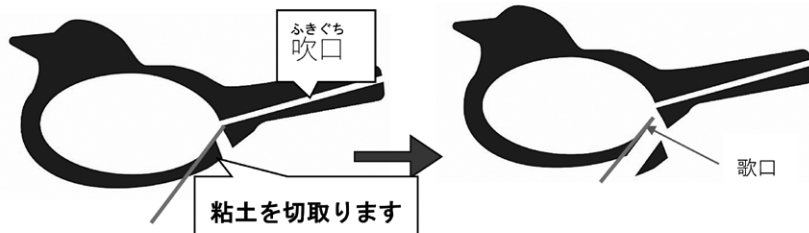
※2色刷りをするなら、色ごとに、分けてなぞります。

トレーシングペーパーの上にスクリーンを置きます。

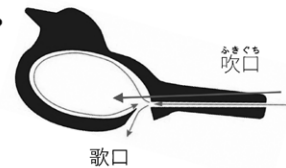
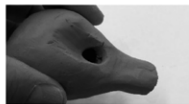


おと な
■いよいよ音が鳴るよ！

まるぼう あな え き
9. 丸棒であけた穴を絵のようにうすく切ろう。



ず ふきくち うたぐち さき いっちよくせん おと な
 図のように、吹き口と歌口の先が、一直線にならないと音が鳴りませ
 ふきくち うたぐち み ちょうせい
 ん。吹き口から歌口が見えるように調整しましょう。



や かた
オープンねんどの焼き方

かけほ
■ねんどは、しっかりと陰干し
 ましょう。1~2週間は乾かしま
 しょう。

や い
■パン焼きのオープンに入れて、
 ふんかためん や かえ
 15分片面を焼き、ひっくり返して
 ふん や
 15分焼きましょう。

でんし や きけん
★電子レンジでは、焼けません。危険です！

ちか ちゅうい
★ヒーターに近づけすぎないように！ やけどに注意しましょう！

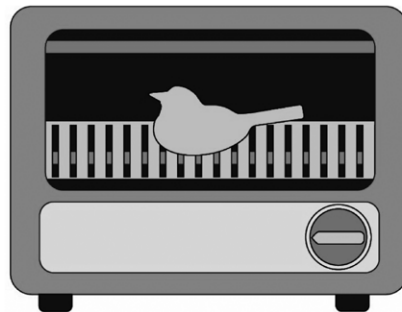


図3

[表1] ワークショップテキストの内容

番号	種類	ワークショップ名	対象年齢	実施日	共同企画・備考
1	絵画	点描画に挑戦	大人(中学生以上)	2020年6月26日	
2	絵画	人物・動物のデッサン講座	大人(中学生以上)	2020年7月19日 23日	
3	デザイン・イラスト	漫画・イラスト講座	大人(中学生以上)	2020年8月29日 30日	
4	デザイン・イラスト	透視図法講座 1 一点透視図法をかく	大人(中学生以上)	2020年9月20日	
5	デザイン・イラスト	透視図法講座 2	大人(中学生以上)	2020年10月18日	
6	絵画	色鉛筆とパステル	小学生	2020年11月22日	
7	デザイン・イラスト	透視図法講座 パースの描き方	大人(中学生以上)	2020年11月29日	
8	絵画	絵具の秘技	小学生	2020年12月13日	
9	デザイン・イラスト	透視図法講座メカニカルイラストレーション	大人(中学生以上)	2020年12月20日	
10	絵画	切り絵講座	大人(中学生以上)	2021年1月24日	
11	紙工作・ペーパークラフト	紙の輪から作ってみよう(立体制作)	小学生	2021年2月21日	
12	版画	かんたんリトグラフ	大人(中学生以上)	2021年7月18日	
13	版画	紙版画講座 コラグラフというカッコイイ版画を体験しよう	大人(中学生以上)	2021年8月29日	
14	造形遊び	「輪ゴムまきまき」	親子(4才児～小学生)	2021年11月27日	
15	デザイン・イラスト	ゆるキャラをつくろう	小学生	2022年1月16日	
16	造形遊び	ぼたぼたアート(絵具のドリップング)	親子(4才児～小学生)	2022年2月27日	
17	デザイン・イラスト	ひらがなであそぼう	小学生	2022年4月17日	
18	デザイン・イラスト	ひらがなであそぼう	大人(中学生以上)	2022年4月24日	
19	紙工作・ペーパークラフト	おりがみフラワー	小学生	2022年5月15日	
20	版画	「ならべる」×「する」 (スタンプで模様づくり)	小学生	2022年5月28日	
21	造形遊び	「はかる」×「まぜる」 色水で混色	小学生	2022年6月25日	
22	紙工作・ペーパークラフト	スウィングバードをつくろう	小学生	2022年7月24日	
23	紙工作・ペーパークラフト	ペーパー彫刻	大人(中学生以上)	2022年7月31日	
24	木工	木製コースターを作ろう アールデコの模様から	小学生	2022年7月31日	
25	デザイン・ペーパークラフト	形をつなげる 正多角形をつなげる	大人(中学生以上)	2022年8月28日	
26	絵画	スクラッチスクラッチ(クレヨンの技法)	大人(中学生以上)	2022年10月23日	
27	絵画	黒い紙にかこう 黒い紙に色鉛筆で描く	大人(中学生以上)	2022年12月18日	
28	粘土工作	「なる」×「いのる」 土笛を作ろう	小学生～大人	2023年1月	
29	版画	スタンプ・スタンプ	小学生	2023年1月15日	
30	紙工作・ペーパークラフト	切り絵 春を切ろう	小学生	2023年2月13日	
31	絵画	白抜きに挑戦(消しゴムの技)	大人(中学生以上)	2023年2月19日	

番号 種類	ワークショップ名	対象年齢	実施日	共同企画・備考
32 造形遊び	つなげる×サークル せんたくばさみやクリップをつないでつくろう	一般	2023年5月3日	
33 絵画	「みつける」×「アニマル」 手形スタンプで遊ぼう	親子（4才児～小学生）	2023年5月28日	企画展WS 収蔵作品展 （星野真吾）
34 造形遊び	「折る」×「染める」 和紙を折って模様染めしよう	小学生	2023年7月25日	
35 水墨画・日本画	水墨に触れてみよう	小学生～大人	2023年7月29日	市民活動センター コラボ企画
36 紙工作・ペーパークラフト	「おる」 紙リボンを織って模様をつくり、コースターにしよう	小学生	2023年8月6日	
37 絵画	「ぬる」×「けずる」 クレヨンとポスターカラーでスクラッチ	小学生	2023年9月24日	
38 粘土工作	「まぜる」×「ねる」 紙粘土で和菓子作り	小学生	2023年10月22日	
39 絵画	「ぬる」×「重ねる」 下地づくり効果を体験する	小学生～大人	2023年10月25日	
40 版画	「ころがる」×「うつる」 転がるスタンプを作って模様づくり	小学生	2023年11月12日	
41 紙工作・ペーパークラフト	「ころがる」×「カラフル」 ころがるおもちゃ	親子（4才児～小学生）	2023年11月19日	
42 版画	イモ版で年賀状 サツマイモで作る版画	小学生～大人	2023年12月9日	
43 絵画	「ひらく」×「とじる」 窓の仕掛けでコラージュ	親子（4才児～小学生）	2023年12月17日	
44 絵画	「かくれる」×「しかける」 だまし絵を作る	小学生	2023年12月17日	
45 紙工作・ペーパークラフト	「おめん」×「かぶる」 ダンボールでお面づくり	親子（4才児～小学生）	2024年1月21日	
46 版画	「する」×「みつける」 モノグラフの模様から絵を見つける	小学生～大人	2024年2月18日	
47 工作・ペーパークラフト	鯉のぼりと風車をつくろう	親子（4才児～小学生）	2024年4月21日	
48 紙工作・ペーパークラフト	ミニ兜をつくろう	小学生	2024年4月29日	
49 紙工作・ペーパークラフト	母の日の手作りカーネーション	小学生	2024年5月11日	
50 版画	木版画に挑戦 後戻りできないユニークな一版多色刷り	小学生～大人	2024年5月11日	
51 版画	リトグラフに挑戦 木版リトグラフを体験しよう	小学生～大人	2024年6月16日	
52 工作・ペーパークラフト	「つり下げる」×「バランス」 モビールを作ろう	小学生	2024年7月14日	
53 水墨画・日本画	みず×すみ×試してみる 達吉さんの水墨画に学ぼう	小学生	2024年7月21日	棚尾小学校 達吉クラブ
54 工作・ペーパークラフト	「のぞく」×「まわす」 万華鏡を作ってのぞいてみよう	親子（4才児～小学生）	2024年7月21日	

番号 種類	ワークショップ名	対象年齢	実施日	共同企画・備考
55 版画	「浮かべる」×「する」 マーブリングで楽しもう	親子(4才児～小学生)	2024年8月18日	
56 絵画	「スケッチする」×「描く」×「削る」 寺町をスケッチしよう	小学生～大人	2024年9月8日	企画展に関連
57 版画	「描く」×「する」 シルクスクリーン印刷	親子(4才児～小学生)	2024年9月22日	
58 水墨画・日本画	「かすれる」×「にじむ」 鉄斎に学ぶ水墨画	小学生～大人	2024年10月5日・6日	企画展WS 富岡鉄斎展
59 工作・ペーパークラフト	「切る」×「サークル」 円形パーツを使って飛び出す絵本づくり	小学生～大人	2024年11月8日	
60 版画	「削る」×「刷る」 ドライポイント版画	小学生～大人	2024年11月17日	
61 工作・ペーパークラフト	「ボール」×「はる」 和紙ボールを作ろう	親子(4才児～小学生)	2024年12月1日	
62 版画	「はる」×「刷る」 コラグラフで前衛しよう	小学生～大人	2025年1月19日	
63 粘土工作	「見つめる」×「創造する」 三木富雄になって耳を造形しよう	小学生～大人	2025年1月26日	
64 絵画	もふもふ動物を描こう 鉛筆と消しゴムで、もふもふ	小学生～大人	2025年3月16日	
65 紙工作・ペーパークラフト	「切る」×「おる」×「つなぐ」 画用紙を使って恐竜を作ろう	小学生～大人	2025年4月20日	
66 絵画	水彩でくだものを描いてみよう	小学生～大人	2025年4月27日	
67 絵画	「描く」×「こする」 木炭で描いてみよう	小学生～大人	2025年5月18日	
68 版画	「はっぱ」×「うつす」 落ち葉やはっぱを使って面白い版画にしよう	親子(4才児～小学生)	2025年6月8日	
69 版画	リトグラフに挑戦 木版リトグラフに挑戦!	小学生～大人	2025年6月15日	
70 工作・ペーパークラフト	本を作ろう 達吉さんの本作りに迫ろう	小学生～大人	2025年7月6日	榑尾小学校 達吉クラブ
71 デザイン・イラスト	「つくる」×「かく」 面白ペンで花文字を書こう	小学生～大人	2025年7月13日	
72 版画	「描く」×「する」 シルクスクリーン印刷+重ね刷り	親子(4才児～小学生)	2025年8月24日	
73 絵画	「ぬる」×「はじく」 お月さまの絵をかこう	親子(4才児～小学生)	2025年9月28日	
74 水墨画・日本画	日本画で秋を描こう 黒い紙に日本絵の具で描いてみよう	小学生～大人	2025年10月5日	企画展WS 川端龍子展
75 工作・ペーパークラフト	ミニクリスマスツリー・リースをつくろう	親子(4才児～小学生)	2025年12月14日	

ワークショップテキストの内容については、次のような手順で紹介している。

- ・表紙(ワークショップタイトル、サブタイトル、実施日、実施時間、氏名欄) 0ページ
[図4]
- ・制作手順と作業時間、必要な材料と道具 1ページ
[図5]
- ・具体的な制作手順(図解と制作写真)、完成作品 2ページ以降
[図6]

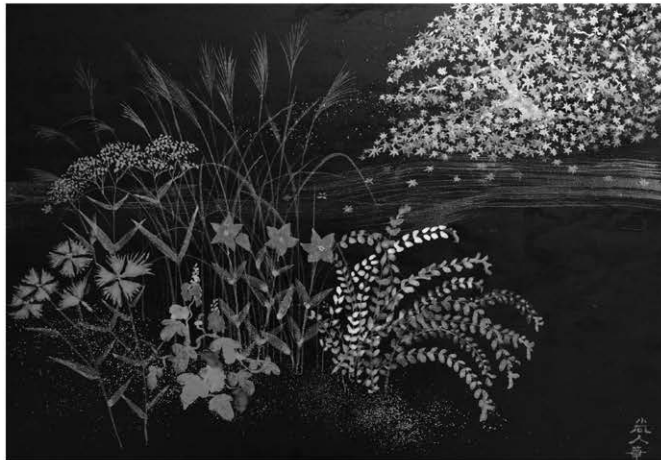
ワークショップテキストに作品制作時の注意点を明示することで、受講者が制作手順を理解することはもとより、スタッフが、ワークショップで触れるべき重要なポイントを把握できることがいちばんのメリットになった。

2025年10月5日

企画展 ワークショップ

日本画で秋を描こう

— 黒い紙に日本画絵の具で描いてみよう —



10 : 30 ~ 12 : 00

13 : 30 ~ 15 : 00

名前 _____

図4

ざいりょう どうぐ
 <材料と道具>

- ・和紙パネル 1枚
- ・金箔、銀箔
- ・墨汁
- ・膠
- ・ドウサ
- ・金粉、銀粉
- ・水干絵の具
- ・岩絵の具
- ・胡粉
- ・絵皿
- ・砂子筒
- ・絵筆



(面相筆、彩色筆、平刷毛)

ほんじつ
 <本日のスケジュール>

	計	90分
① 日本画の画材と道具の説明		15分
② 背景を塗る		10分
③ 砂子を蒔く		15分
④ 下絵をかく		10分
⑤ 金泥でかく		25分
⑥ 仕上げ		5分
⑦ 後片付け		10分

図5

① 背景を塗る

(1) 墨汁で背景を塗る

※濃い黒色の背景にするので、墨汁を2度塗りする

※ドライヤーで乾燥させ、2回目を塗る



たっぷり墨汁をつける



1回目

⇒ 乾燥



⇒ 2回目

(2) ドウサを塗る

※墨が滲まないように、ドウサを2~3回塗る



② 砂子を蒔く

- (1) 金箔を砂子筒に入れる
- (2) 背景に膠を塗る。膠が糊の役目を果たし金箔を接着させます
- (3) 金箔をかけない部分を紙で覆う
- (4) 砂子筒を振り、金箔を振りかける
- (5) 覆った紙を外し、反故紙で軽く抑え、金箔を定着させる

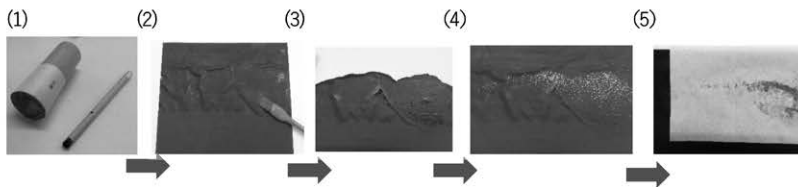


図6

そして、75冊に及ぶワークショップテキストの活用について、2024年12月からシリーズ毎にまとめ、下記のようにPDF形式で館のホームページに載せることにした。ホームページのアドレスをここで明示しておく。

- ・シリーズ画材(クレヨン、パステル、色鉛筆) [図7]

ホームページ https://www.city.hekinan.lg.jp/material/files/group/62/workshoptext_kureyon3.pdf

- ・シリーズ画材(水彩絵の具、アルリル絵の具) [図8]

ホームページ https://www.city.hekinan.lg.jp/material/files/group/62/workshoptext_suisai3.pdf

- ・シリーズ版画 [図9]

ホームページ https://www.city.hekinan.lg.jp/material/files/group/62/workshoptext_hanga3.pdf

また、このワークショップテキストを、小中学校で図画工作や美術の教材に活用できるようにするため、クレヨンや鉛筆、色鉛筆の素材に関する知識や扱い方 [図10]、水彩絵の具の扱い方やパレットの洗い方など子どもたちが水彩絵の具に親しめる指導方法 [図11]、木版画における彫刻刀の扱い方や印刷するときの少しの工夫できれいに摺れる方法 [図12] [図13] などを巻末に示した。このワークショップテキストは、碧南市教育委員会と市内小中学校をつなぐコンピューターネットワーク上にも載せられ、自由に指導案に取り込めるように、Wordの文書形式で作成されている。

ワークショップテキストシリーズ

「クレヨン・鉛筆・色鉛筆」編

【目次】

□出前授業や美術館のワークショップで行った内容をテキストにまとめました。図画工作や美術の授業にお使いください。

□授業の指導案などに自由にお使いください。ただし、独自の研究に应用したり、研究成果を発表したりする際には、出典を明らかにしてください。

(著作元：碧南市藤井達吉現代美術館 稲垣尚人)

※タイトルをクリックすると、目的のページへ移動します。

- | | | |
|----------------------------|---------------|---------|
| 1. ぬる×けずる クレヨンとポスターカラーを使って | 対象年齢：8～10才以上 | P2～P6 |
| 2. 色鉛筆とパステル | 対象年齢：10～12才以 | P7～P8 |
| 3. 黒い紙を使って | 対象年齢：11～12才以上 | P9～P12 |
| 4. 点描に挑戦 | 対象年齢：13才以上 | P13～P16 |
| 5. もふもふ動物を描こう | 対象年齢：11～12才以上 | P17～P21 |
| 6. 白抜きに挑戦 | 対象年齢：11～12才以上 | P22～P25 |

<付録>

- | | | |
|-------------------|---------------|---------|
| 7. 鉛筆の種類とトレーニング例 | 対象年齢：10～12才以上 | P26～P27 |
| 8. 色鉛筆の描き方トレーニング例 | 対象年齢：10～12才以上 | P28～P29 |
| 9. クレヨン、パステルの使い方例 | 対象年齢：6～10才以上 | P30～P33 |

ワークショップテキストシリーズ

「水彩絵の具・アクリル絵の具など」

【目次】

□出前授業や美術館のワークショップで行った内容をテキストにまとめました。図画工作や美術の授業にお使いください。
□授業の指導案などに自由にお使いください。ただし、独自の研究に応用したり、研究成果を発表したりする際には、出典を明らかにしてください。
(著作元：碧南市藤井達吉現代美術館 稲垣尚人)

※タイトルをクリックすると、目的のページへ移動します。

- | | | |
|-------------------------------|---------------|---------|
| 1. ぼたぼたアート | 対象年齢：5才～大人 | P2～P4 |
| 2. 絵の具の秘技 | 対象年齢：7才～大人 | P5～P8 |
| 3. 塗る×重ねる 下地づくりの効果を体感しよう | 対象年齢：7才～大人 | P8～P10 |
| 4. スケッチする×描く×削る 寺町をスケッチしよう | 対象年齢：7才～大人 | P11～P14 |
| 5. みず×すみ×試してみる 達吉さんに学ぶ水墨画 | 対象年齢：10才～大人 | P15～P18 |
| 6. にじむ×かすれる 鉄斎に学ぶ水墨画 | 対象年齢：10～12才以上 | P19～P23 |
| <付録> | | |
| 7. 水彩絵の具とアクリル絵の具、油絵の具、日本画との違い | | P24 |
| 8. 水彩絵の具の使い方・片付け方 | | P25～P29 |
| 9. 色見本をつくる | | P30 |
| 10. 水彩絵の具 守りたいルール | | P31 |
| 11. アクリル絵の具 守りたいルール | | P32 |

ワークショップテキストシリーズ

「版画」編

□出前授業や美術館のワークショップで行った内容をテキストにまとめました。図画工作や美術の授業にお使いください。
□授業の指導案などに自由にお使いください。ただし、独自の研究に応用したり、研究成果を発表したりする際には、出典を明らかにしてください。(著作元：碧南市藤井達吉現代美術館 稲垣尚人)

【目次】 ※タイトルをクリックすると、目的のページへ移動します。

1. 手形 (スタンプ) 対象年齢:4~5 才以上 P 2~ P 3
 2. モノグラフ 対象年齢:7~8 才以上 P 4~ P 6
 3. デカルコマニー (実験! 絵の具をプレス) 対象年齢:4~5 才以上 P 7~ P 9
 4. 紙版画 (コラグラフ) 対象年齢:7~8 才以上 P 10~ P 13
 5. 身近なものをスタンプしよう 対象年齢:5~6 才以上 P 14~ P 16
 6. 木版画に挑戦! 後戻りできない一版多色刷り 対象年齢:10~12 才以上 P 17~ P 21
 7. 削る×刷る ドライポイント版画 対象年齢:10~12 才以上 P 22~ P 24
 8. 描く×刷る リトグラフ 対象年齢:11 才以上 P 25~ P 28
 9. 描く×刷る シルクスクリーン印刷 対象年齢:10~12 才以上 P 29~ P 34
- <付録>
10. 紙版画をつくるコツ コラグラフ (紙版画) 対象年齢:7~8 才以上 P 35~P36
 11. 木版画を彫るコツ 木版画 (彫刻刀の彫り方) 対象年齢:10~12 才以上 P 37~P38
 12. 版画を摺るコツ 1 インクの濃さを調節するコツ 対象年齢:7~8 才以上 P 39
 13. 版画を摺るコツ 2 紙の中心に摺るコツ、刷り紙を汚さないコツ P 40

9 クレヨン、パステルの使い方例

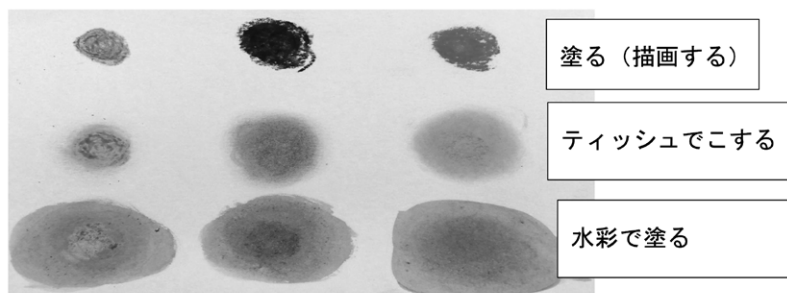
対象年齢：6～10才以上

■クレヨン・パステルの種類

- 1 クレヨン 《油性》 顔料を蠟で練り込んで固めた画材 描画に向く
- 2 オイルパステル（クレパス） 《油性》 描画や混色や彩色むに向く
顔料に蠟と油、体質顔料を加えた画材、クレヨンに比べて柔らかい
- 3 コンテ（コンテパステル） 描画、デッサンクロッキーに向く
顔料がに粘土、固着剤（ゴムなど）を練り、焼き固めたもの
- 4 パステル 水性 芯が水で顔料がとけ、水彩のようになる
顔料がに粘着剤（ゴムなど）を練り固めたもの、粉状に広がるが、定着させるにはフキサチーフ（定着液）が必要

■クレヨン・クレパス・パステルの性質の違い

<クレヨン> <オイルパステル（クレパス）> <パステル>



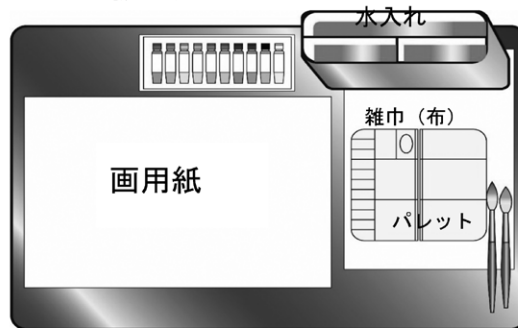
- ・クレヨンは描いた跡が、残るが、オイルパステル、パステルは描いた跡はあまり残らない。
- ・ティッシュペーパーで擦ると、オイルパステル、パステルはぼかすことができる。
- ・クレヨン、オイルパステルは水彩絵の具をはじくが、パステルは水彩に溶け、混色できる。

図10

8 水彩絵の具の使い方・片付け方

■筆、水入れ、パレットの扱い方

<机の配置>



※パレットと水入れ、雑巾などは利き手側に集めておくと使いやすい

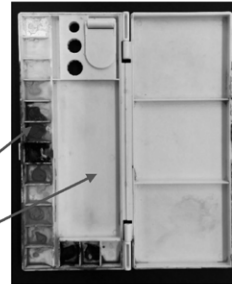
■水彩パレットの使い方

■水彩画家の多くは、右のように絵の具を

パレットに固めて使います。

細かな仕切りは、絵の具を固める場所

広い場所は、絵の具を混ぜる場所

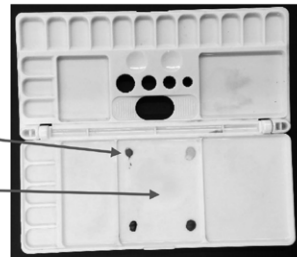


※絵の具を細かな仕切りに出し、その都度、水洗いしては、水場が満席、片付けが大変です。

すいさい 水彩パレットの使い方 (低学年におすすめ) つか かた

■広い場所の端に絵の具を出し、

中央で混色します



■絵の具の量は、色面の広さや絵の具の濃さにもよりますが、小指の先ほどの少なさで十分です。

図 11

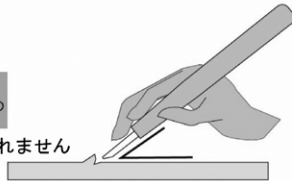
＜彫りやすい彫刻刀の持ち方＞

□版木と彫刻刀の傾きが浅くなるように握りましょう。



×鉛筆持ち

角度が大きく彫れません



おやゆび ひとき ゆび ちょうこくとう
親指か人差し指を彫刻刀に
そ添えて彫ります。

くろ えぐ め ぼ あとが
黒い絵の具を塗ると彫り跡が
よくわかります。

◎版画制作の豆知識 1 陰刻について

□重要なポイント 「**最初は陰刻**から、経験を積んで陽刻へ」

○初めて木版画を経験するときは**陰刻のみ**で**三角刀**で彫ります。

※陰刻……輪郭線を彫る方法 輪郭線が白、バックは黒

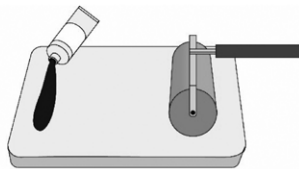


陰刻では、バックは基本的に彫らない
白い輪郭線の陰刻にバックを丸刀で彫
ると、右のような、真っ白で何が描かれ
ているか分からない作品が出来上がり
ます。子どもたちは、木を彫ることに夢
中になり、作品の仕上がりに気がつか
ず、とんでもない失敗を経験させてし
まいます。

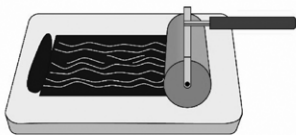


12 版画を摺るコツ 1 インクの濃さを調節するコツ

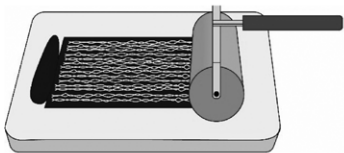
◎版画を摺る豆知識 1 インクの濃さはさざ波がベスト



① インクをインク練り板（アクリル板）の端につけ、ローラーでインク量を調整しながらのぼす

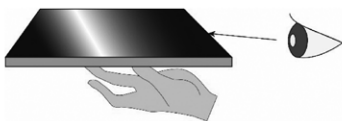


② インクの量が、多いと縦縞の模様になります。インクが少ないと光る程度です



③ 適切なインクの量は、さざ波が立つような状態。ローラーを回すと、ジャリジャリと音がします

◎版画を摺る豆知識 2 版木を横からかざしてチェック



① インクをつけた版画板を、光にかざしてチェックします。



② 上の部分は光っていません。下の部分は光っています。上の部分はインクが足りません。

図 13

(3) ワークショップ作品展・るるる展について

第1回ワークショップ作品展は、2010年4月27日～5月16日に実施され、以後リニューアル工事期間中を除き、毎年実施されてきた。[次頁表2] 1年間のワークショップ活動の集大成で、たくさんの受講者の作品を並べ、発表した。[写真2] [写真3] ただし、作品展を開催するに当たり、次の2点が課題であった。

1. ワークショップ受講者の作品を集めるため、受講者に作品を持ち寄ってもらう手間や負担がかかる。
2. ワークショップの内容や魅力を伝えることは作品展示だけでは不十分である。

実際に、作品展の開催準備のために、完成したワークショップ作品を美術館で事前に保管し、終了後に受講者に作品を取りに来てもらうこともあったが、なかには取りに来ることを躊躇し、作品が残されてしまったケースもあった。せっかく制作したワークショップ作品を、展示のために預かることに問題があると考えた。また、作品展だけでなく、ワークショップを広く知ってもらうための新しい展覧会にしたいとも考えた。

そこで、ワークショップで行っている内容を紹介し、実際にワークショップの簡易な疑似体験をしてもらう展覧会にできないかと考えた。そして、前任の中島未紗学芸員の提案から、「るるる展」と命名して新たに実施することにした。因みに「るるる」とは、「色を塗る」「版画を刷る」「板を削る」「粘土を練る」など、結果的に造形にかかわっていく動詞、「〇〇る」を集めて、まずは各ワークショップの題名にし、その各動詞を題名にしたワークショップを集めて展覧会にしようというアイデアである。

2023年3月1日～31日まで開かれた第1回の「るるる展」は[写真4]、ワークショップテキストをそのワークショップで制作した作品（サンプル作品）とともにパネル展示して紹介した。[写真5] ワークショップの簡単な疑似体験や自由に造形遊びができるコーナーも作って、子どもたちや家族連れが造形活動に興味をもってもらえるような工夫をした。[写真6] [写真7]

[次頁表2] の通り、来場者数が増えていない点は反省し、もっと魅力ある工夫をしなければならないと感じている。これからも気軽に造形遊びを体験できるような展示の工夫をしていきたい。



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7

[表2] ワークショップ作品展・るるる展 実績一覧

年度	名称	開催期間	来場者人数
2010年	ワークショップ作品展	4月27日 ～ 5月16日	757
2011年	ワークショップ作品展	6月25日 ～ 7月10日	405
2012年	ワークショップ作品展	4月28日 ～ 5月13日	533
2013年	ワークショップ作品展	4月20日 ～ 5月6日	493
2014年	ワークショップ作品展	4月24日 ～ 5月11日	406
2015年	ワークショップ作品展	4月16日 ～ 5月15日	451
2016年	ワークショップ作品展	4月16日 ～ 5月15日	335
2017年	ワークショップ作品展	4月16日 ～ 5月15日	581
2018年	ワークショップ作品展	6月12日 ～ 7月8日	653
2019年	ワークショップ作品展	6月22日 ～ 7月21日	674
2020年			
2021年	リニューアル工事期間中のため開催なし		
2022年			
2023年	るるる展	3月1日 ～ 3月31日	382
2024年	るるる展	2月1日 ～ 2月16日	355
2025年	るるる展	3月7日 ～ 3月22日	

(4) ワークショップの今後の展開

ワークショップのジャンルを更に増やしていく努力をしていきたい。特に、映像に関するワークショップは機材などの制約から講座の実施が難しい状況である。しかし、タブレットを新しく導入する予定があり、アニメーションや画像加工など新しいワークショップの検討を始めている。また、ワークショップテキストの新しいシリーズもまとめていきたいと考えている。新しいシリーズの内容としては、

- ・紙工作・ペーパークラフトシリーズ
- ・水墨画・日本画材シリーズ
- ・ダンボール工作・木工作シリーズ
- ・デザイン・イラストシリーズ

などである。ワークショップ実施に伴って拡充していくワークショップテキストをその都度まとめていく活動も大切な事業内容だと考える。

2 小中学校への出前授業

(1) 出前授業の変遷

美術館の教育普及事業としてもうひとつの柱である出前授業について、著者の考えを述べてみたい。出前授業の成立と当初の方針や問題点などについては、深谷紗千専門スタッフの研究紀要論文 [参考文献3] [小学校出前講座 実施報告と今後の課題, 平成29年(2017)] に詳しい。そこにもあるように、小学校からの依頼の殆どが「碧南子ども造形展」に出品する作品を考えてほしいというものだった。他の学級と比較して見栄えのする作品の作り方を教えてほしいという要望は理解できないわけではないが、美術館の教育普及活動

としての出前授業の主旨に相応しいものだろうかと思った。美術館の地域連携の一環として小中学校への出前授業は意義あることである。しかし、「子ども造形展」出品のために美術館が協力することは、主旨が違うのではないだろうか。もし、全ての「子ども造形展」の造形指導を美術館の出前授業で行ってしまうと、「子ども造形展」が画一化されてしまうことになる。担任教師の制作指導はあるものの、偏った個性のないものになりはしないだろうか。

そこで、出前授業を申込み際に、まず美術館側で授業内容のサンプルを示し、その中から必要な授業内容を選択してもらうことにした。具体的には、絵具、クレヨン、粘土細工、彫刻刀、のこぎりなど素材や道具の使い方、ものの見方、スケッチの仕方、混色の仕方などの造形上のコツ、様々な造形遊び、タッチカード（当館で開発した40枚の収蔵作品がプリントされたアートカードで、作品鑑賞やゲームなど様々な活用できる）を活用した鑑賞ゲーム、美術鑑賞などである。年々、サンプル内容を更新していき、下記の表のようになった。[表3]

[表3] 令和7年度 美術館 出前授業一覧表

番号	区分	対象学年	題名	概要(授業内容)	準備物(学校)
0	対話	全学年	美術館って何だろう	美術館って何?誰が何をやる場所?作品数は?など素朴な疑問に回答します。	事前に児童生徒に質問を募集
1	鑑賞 (所蔵作品)	小高学年	屏風って何だろう①	大島風物図屏風の鑑賞・屏風の数え方や左右一対の様式や構造について紹介します。	筆記用具
2	鑑賞 (所蔵作品)	小高学年 中学校	屏風って何だろう②	大島風物図屏風の鑑賞・屏風に描かれた内容について推理します。 (歴史考察、技法、材料、制作年代、登場人物から見える暮らしや地形等)	タブレット端末
3	鑑賞 (所蔵作品)	小高学年 中学校	水墨画を知る	軸装作品の鑑賞と水墨の実演 (作中の技法を紹介) (美術館所蔵資料(実物)を鑑賞)	タブレット端末
4	鑑賞 (所蔵作品)	小中学年 高学年	風景画のヒミツ	構図や遠近法の紹介(モチーフの大きさ、配置、色の濃淡など、気づいた事を話し合う)	タブレット端末
5	鑑賞 (所蔵作品)	小高学年 中学校	ポスターってどんな役割?	福田繁雄のポスター(所蔵作品)の特徴について話し合い、ポスター作りに大切なことを学ぶ。(構図・配色・キャッチコピー・錯視など)	タブレット端末
6	鑑賞 (所蔵作品)	全学年	題名を考えよう	当館の所蔵作品を鑑賞し、題名を考える。 作者の意図、材料、技法、制作年を知る。 作者や作品に対して自分の考えを深める。 他者の意見を聞き、考えを共有する。 昨年の実例:《花の歌》《北風》	タブレット端末
7	鑑賞 (野外彫刻)	全学年	野外彫刻って何?! 【別紙参照】	碧南の野外彫刻の写真及び資料作品の写真を鑑賞し、題名を考える。 作者の意図、材料、技法、制作年を知る。 作者や作品に対して自分の考えを深める。 他者の意見を聞き、考えを共有する。 校区の野外彫刻を中心に理解を深める。 昨年の実例:《とのさまバッタ》…柵尾小前、 《風景の調和》…碧南中央駅前	タブレット端末

番号	区分	対象学年	題名	概要(授業内容)	準備物(学校)
					たちカード(各校所有)
8	鑑賞 (たちカード)	小低学年 中学年	たちカードゲーム① スリーワード連想ゲーム	4～5人グループで、出題者が出したキーワードから、選んだカードを当てるゲーム たちカードハンディブックP6	美術館の所蔵品や碧南市の野外彫刻作品の図版をカードにした40枚1組の教材。 平成26年度に学校と美術館とが協働で作成し、現在碧南市内の全小中学校に配布し活用。グループ活動でゲーム形式の鑑賞に特化
9	鑑賞 (たちカード)	小低学年 中学年	たちカードゲーム② 伝書バトゲーム	5～7人グループで、出題カードからイメージする言葉を伝言し、列の最後の回答者が出題カードを当てるゲーム	
10	鑑賞 (たちカード)	小中学年 高学年	たちカードゲーム③ プレゼント・フォー・ユー	4～5人グループで、出題者はプレゼントする相手が喜ぶ絵カードを3枚選び、回答者は絵カードからイメージできるプレゼントの相手を推理するゲーム たちカードハンディブックP13	
11	鑑賞 (たちカード)	小中学年 高学年	たちカードゲーム④ Yes No ゲーム	4～5人グループで、出題者が選んだ絵カードを当てるゲーム。回答者は絵カードの特徴を3回出題者に質問し、出題者はYES・NOで答え、カードを絞る。 たちカードハンディブックP8	タッチカードハンディブック
12	鑑賞 (たちカード)	小中学年 高学年	たちカードゲーム⑤ 暗号解読ゲーム	グループ対抗ゲーム。グループで20の言葉の中から選んだ言葉(暗号)を3枚のカードを提示することで出題する。他グループは暗号を解読できるか競争するゲーム	
13	創作 (技術指導)	小低学年	油粘土に親しもう	油粘土のほぐし方、全ての量を使う事等、取り扱い方～創作へ展開します。 事例:「動物園」をつくる	油粘土、粘土板
14	創作 (技術指導)	小中学年 小高学年	彫刻刀を使う	彫刻刀の持ち方と彫る手順を学ぶ。安全に制作を進めるための心構えや制作中の整理整頓を伝えます。	テーマ、下書きを終えておく 彫刻等、版木
15	創作 (技術指導)	全学年	版画を摺る	版画インクの量・摺り方・紙の中心にする方法等を伝えます。	版、紙、インク、新聞紙、雑巾等
16	創作 (技術指導)	小低学年 小中学年	クレヨンを使おう①	クレヨンでの混色やグラデーション表現を紹介します。	クレヨン、紙、ティッシュ
17	創作 (技術指導)	全学年	クレヨンを使おう②	クレヨンを使った、スクラッチの技法を紹介します。	クレヨン、紙、ティッシュ
18	創作 (技術指導)	全学年	絵の具に親しもう①	水と絵の具を少量で済ませるエコな方法を紹介し、特にパレット、水入れ、雑巾の有効活用を伝えます。	絵の具セット、紙
19	創作 (技術指導)	全学年	絵の具に親しもう② 自然物の色をつくる	赤・黄・緑・青・白の5色のみで、土の色や落ち葉の色を表現します。混色を試行錯誤しながら楽しむ授業です。	絵の具セット、紙、運動場の砂や葉
20	創作 (技術指導)	小高学年 中学校	水墨画にチャレンジ	墨と水分量や毛筆の角度の違いを実演して鑑賞。筆を扱う、置く、面で塗る等の絵画表現を伝えます。	

番号	区分	対象学年	題名	概要(授業内容)	準備物(学校)
21	創作 (技術指導)	全学年	鉛筆スケッチ① (植物を描く)	草花や木をよく観て描く手順や心構えを伝えます。植物の構造にも触れます。	筆記用具、紙、ティッシュ
22	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	鉛筆スケッチ② (手を描く)	実物をよく観て描く手順や人体の骨格を意識する事を伝えます。	筆記用具、紙、ティッシュ
23	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	鉛筆スケッチ③ (顔を描く)	目のスケッチから始め、顔のバランスや表情などを意識して描くことを伝えます。	タブレット端末
24	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	鉛筆スケッチ④ (全身を描く)	手足の関節が曲がる部分を観察し、量感や骨格を意識する事を伝えます。	筆記用具、紙、ティッシュ
25	創作	全学年	おもちゃづくり	準備物や作業手順を計画し、身近な材料を活用する事を楽しむ。材料に対し、適切な道具や接着剤を使用する事を伝えます。	各種材料、道具 はさみ、のり、テープ等
26	創作	全学年	線と色と形	折り紙を4分割して、並べる。できた構成を鑑賞する。次に破って4分割し、構成する。それぞれ台紙に並べて貼り、色鉛筆で加飾して平面構成する。	色紙、台紙、はさみ、のり、色鉛筆
27	創作	特別支援 全学年	ぼたぼたアート	絵の具+のりを混ぜ、画面に垂らす遊びの後、自分たちで集めた素材を貼り付ける創作。発達段階に応じていろいろなバリエーションができます。	各種材料 絵の具、のり、紙等
28	創作	特別支援 全学年	切紙 一切って開くと、何ができる?ー	色紙や紙テープをいろいろな折り方をして切ってできる連続模様を楽しむ。	色紙、はさみ
29	創作	特別支援 全学年	継色紙を作ろう (2時間)	藤井達吉が制作した継色紙を鑑賞し、色紙や布などをコラージュして、膠で貼りつけ、乾燥後に墨で上から絵を描く	和紙、台紙、筆、新聞紙、膠、ドライヤー等
30	創作 (技術指導)	特別支援	材料に触れる (1~2時間)	素材に触れ、感触を確かめる。次に食べ物や動植物に見立てて遊ぶ。材料をビニール袋や容器に入れたりし個々に自由な創作を楽しむ。材料は、端材など現在あるものを活用する。	各種材料、道具 はさみ、のり テープ等
31	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	のこぎりの扱い方	のこぎりや最初に扱う木工道具の扱い方を教えます。(のこぎり、クランプ、曲尺などの使い方を教えます)	のこぎり、クランプ、曲尺
32	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	木の接着の仕方	木工ボンドの使い方や、釘の打ち方を教えます。	木工ボンド、釘、金づち、キリ、クラフトテープ等
33	創作 (技術指導)	小高学年	小刀の使い方	竹とんぼまたはペーパーナイフの作り方を通して、小刀の安全な使い方を教えます。(練習で鉛筆を削ります)	軍手、鉛筆、竹等
34	創作 (技術指導)	小中学年 高学年	電動糸鋸の使い方	電動糸鋸の刃のつけ方や切り方、特に糸鋸の刃を折らない切り方を教えます。	電動糸鋸、板
35	創作 (技術指導)	小高学年	針金細工の方法	針金を使った細工を指導します。ペンチ、ラジオペンチの使い方や、バネや円形・正方形・三角形の作り方を教えます。	針金、ペンチ、ラジオペンチ
36	創作 (技術指導)	全学年	ペットボトルの切り方	ペットボトルの安全な切り方を解説します。	段ボールカッター、はさみ

番号	区分	対象学年	題名	概要(授業内容)	準備物(学校)
37	創作 (技術指導)	小中学年 小高学年	カッターナイフの安全な 使い方	カッターナイフの安全な取り扱い方と、怪我を しない工夫について指導します。	カッターマット、カッターナイフ
38	創作	特別支援 全学年	まきまき造形	木の枝や木の棒に毛糸やひもを巻き付けたり 組んだりして、楽しい造形物をつくります。	木の枝、木の棒、麻紐、毛 糸、剪定鋏、はさみ
39	創作	特別支援 全学年	木の葉のスタンプ	木の葉と版画ローラーを使った、面白い版画 をつくります。	木の葉、アクリル絵の具、版 画ローラー
40	創作	小高学年 中学校	段ボール建築をつくろう	正方形の段ボールをカッターで切り、切った パーツを組み立てて、建物をつくります。	段ボール、段ボールカッター 等
41	創作	小中学年 小高学年	段ボールシティをつくろう (集合制作)	段ボールを組み立て、道路や鉄道、ビルをつ くり、空想の都市をつくります。	段ボール、段ボールカッター、 小箱、マジックインキ等

当初、「碧南子ども造形展」のための支援を期待していた教員にとって、この出前授業一覧の提案は必要性を感じず、その魅力もなくなったようだ。出前授業の依頼が翌年から著しく減少した。しかし、子どもたちに造形の楽しさを伝えたいと思っている教員にはこの一覧の価値が理解できている。毎年のように同じ教員からの依頼が来ている。一部の教員からの共感が広がっていけば、出前授業の目標も少しずつ達成できると思っている。

(2) 確認書(指導案)の定着

学校から出前授業の依頼を受けると、授業の日時、場所、授業でどんな内容にするか、担当教員と打ち合わせを実施する。出前授業は学年単位で行われ、一日で2～5学級の授業を行っている。打ち合わせで授業のアウトラインが決まると、確認書と呼ぶ指導案を学校に送信し、互いに授業の準備を行う。[表4]

この確認書(指導案)については、中島未紗学芸員が考案し、その形式を基に活用している。[表4]のように、日時、場所、準備するもの、指導内容や授業の流れ、そして確認事項を記載して確認を取り合う。確認書で大切なことは、道具や素材の扱い方のコツを記載している点で、教員がこの点を理解し、次からの授業に活かしてもらえればと思っている。

[表4]

【ご返信ください ※送付状不要】
連絡先：碧南市藤井達吉現代美術館(担当：中島 / 稲垣 / 大長)
電話：0566-48-6602 FAX:0566-48-6603
E-mail museum@city.hekinan.lg.jp

出前授業_確認書						
「水墨画に親しもう」				作成日:令和4年6月23日(木) 作成者:美術館(稲垣)		
実施日	学校名	クラス(担任)	人数	限	授業時間	備考
7月4日(月)	新川小学校	●-●(名前)	●人	1限	時 分～時 分	全学年が参加。支援員●名
		特支(名前)	●人	2限	時 分～時 分	
学校の準備物			美術館の準備物			
品名	数量	備考	品名	数量	備考	
①端材(紙、ひもなど)	在庫		A 端材	在庫分		
②色画用紙(黒)台紙	あれば		B カップ	在庫分		
③濡れタオル	各1		C 紙皿	在庫分		
④糊用の敷き紙	各1		D 布	在庫分	作品鑑賞時、作品の下に敷く	
⑤卓上カメラ またはタブレット	1台		E 台紙(1色)	こどもの人数分	作品鑑賞時、作品の下に敷く	
⑥のり(澱粉糊)	各1					
⑦はさみ	各1					
⑧取り皿 (お道具箱のフタ可)	各1	材料を取りに行く際に使用				

授業の流れ		
①材料置き場から好きな材料を選び、黒の台紙や紙皿に並べてあそぶ。見本等の完成物を数パターン紹介する。	講師の実演 (15分)	※卓上カメラまたはタブレット端末で講師の手元を映し教室前の大画面で見る
②材料を並べて試行錯誤し、好きな構成の手順や方法を見つける。材料を切る、折るなどの動作を加える。	児童の作業 (15分)	材料に触れ、材料を配置・構成を楽しむ事が目的。この時は糊は使用しないが臨機応変に。
③	講師説明 (5分)	※卓上カメラで手元を映して提示
④	講師説明 (5分)	※卓上カメラで手元を映して提示
⑤	児童の作業 (10分)	
⑥後片付け	担任の先生の指示 (5分)	

実施日までの確認事項

- ・紙パーツの切れ端を効果的に使うので、残しておいてください。
- ・紙パーツに使った色画用紙の色を教えてください。(例: 赤、黄、青)
- ・課題の2 限目授業の進捗状況を教えてください。

打ち合わせ内容			
●月●日(水)	9時30分～11時00分	日進小学校	美術館担当者: 稲垣・中島(2名) / 学校 主任+教諭(2名)

(3) 教員ワークショップ

教員との連携を深めようと、夏休み期間中に教員対象のワークショップを開いて、図工の授業などで困っていることや制作のコツなどを伝えている。[図14] 参加者は毎年5人程度だが、いろいろな技法などを興味深く体験している。[写真8] 筆者も個別に授業内容の相談やワークショップで行った内容で学校の授業に取り入れられそうなものを、ワークショップテキストを手渡ししながら伝えている。

[図14]

～教員対象ワークショップを開催します～

アンケートで多く要望のあった先生向けのワークショップを開催します。木工具・のこぎり・金づち・彫刻刀等の扱い方から、スケッチ、鑑賞の方法まで、お声のあったことを中心に実施いたします。奮ってご参加ください。

日程：8月19日(火)、8月20日(水) の2日間
 時間：10時～12時(実技指導) / 13時30分～15時30分(スケッチ・鑑賞) (予定)
 対象：碧南市内の小・中学校教員
 内容：実技指導(木工具・のこぎり・金づち・彫刻刀等)、顔・人物などのスケッチの仕方、鑑賞(絵画等)などを予定
 会場：美術館 B1F 創作室
 定員：各回15名程度(予定)
 持ち物：筆記用具、メモ帳等 創作に必要な材料、道具は美術館で用意します。
 その他：やってみたい事や困り事がありましたら、教えて下さい。
 ワークショップ内容に可能な限り反映させていただきます。
 内容の詳細は、6月以降に参加者にお知らせします。
 参加方法：「申込用紙」を5月9日(金)16時までに美術館に提出



写真8

(4) 今後の課題

出前授業の見直しや改善によって、子どもたちの豊かな感性を育もうと考え、美術館の教育普及事業を授業に活かそうとする教員が増えてきている。出前授業を参考にして図工の授業を工夫し、自信を持って取り組む教員が少しでも増えてほしい。そのためにも、ワークショップテキストや確認書などの拡充が必要だと感じる。全ての教員が造形教育の専門家になる必要はないが、興味関心を持って図工や美術の授業に取り組んでもらえればと思っている。

ただ、教育活動は全般にわたって教師個人の日々の研鑽と力量にかかっている部分が多い。授業のやり方は教員一人ひとりに個性があり、その話力、指導方法は様々である。美術館の教育普及活動についても同様で、筆者の培ってきたワークショップ講座も、個人の経験と個性で成り立っている部分が多い。特にワークショップの内容は、自分で素材や道具に触れることで経験し、いろいろな工夫をする中で見出したものが殆どである。よく職人は弟子に、「おれの仕草をみて真似てみる」とか「おれの技を盗み取れ」と言う。技術の伝承は、言葉やマニュアルだけで伝えられるものではない。いくらワークショップテキストに詳細に記述しても実際に経験しないと伝わらないものだと思う。

今後もワークショップテキストや確認書などの充実をめざすとともに、ワークショップや出前授業を牽引する指導者、後継者に引き継いでいく必要性を感じている。

(註)

- [参考文献1] [子どもワークショップ これまでの歩み, 2017年] 執筆者 宮嶋紗千 研究紀要No.4
[参考文献2] [「びあじ:美術館あそび実験室」について, 2017年] 執筆者 大長悠子 研究紀要No.5
[図1] ワークショップテキスト内容 〈本日のスケジュール 時間配分〉 2025.8.17 シルクスクリーン
[図2] ワークショップテキスト内容 〈制作手順〉 2025.8.17 シルクスクリーン
[図3] ワークショップテキスト内容 家で焼成 2024.1.14「なる」×「いのる」はと笛制作
[写真1] ワークショップテキストの印刷物
[表1] ワークショップテキスト一覧(今まで制作したテキストの概要一覧)
[図4] ワークショップテキスト表紙 2025.10.5 日本画で秋を描こう
[図5] ワークショップテキスト1ページ 2025.10.5 日本画で秋を描こう
[図6] ワークショップテキスト2ページ以降 2025.10.5 日本画で秋を描こう
[図7] シリーズ画材(クレヨン、パステル、色鉛筆)の目次
[図8] シリーズ画材(水彩絵の具、アルリル絵の具)の目次
[図9] シリーズ版画の目次欄
[図10] シリーズ画材(クレヨン、パステル、色鉛筆)のP13
[図11] シリーズ画材(水彩絵の具、アルリル絵の具)のP25
[図12] シリーズ版画のP37
[図13] シリーズ版画のP39
[表2] ワークショップ作品展・るるる展実績一覧
[写真2] ワークショップ作品展 平成30年度(2018)の様子 入口
[写真3] ワークショップ作品展 平成30年度(2018)の様子 作品展示
[写真4] るるる展(2025年)展示全体の様子
[写真5] るるる展(2025年)パネル展示の内容
[写真6] るるる展(2025年)の参加者が遊ぶ様子1
[写真7] るるる展(2025年)の参加者が遊ぶ様子2

[参考文献3] [小学校出前講座 実施報告と今後の課題, 平成29年(2017)] 執筆者 深谷紗千 研究紀要No.5

[表3] 平成7年度美術館出前授業一覧表

[表4] 出前授業確認書 中島未紗作成 確認書ひな型

[図14] 教員ワークショップの案内

[写真8] 教員ワークショップの様子